

流山市生涯学習センター夏休みこども特別教室 「サイエンス・ものづくり教室」の一環のなかでの園芸教室を開催

千葉県 園芸福祉士 塚本 昭雄

小学生に植物の関心や育てる楽しさを体験するキッカケ作りとして園芸教室の開催を依頼され、夏休みの工作宿題としても使えるものを、企画し実施しました。

1 回目は8月4日の午前中で「ペットボトルを使った箱庭作り」を行ないました。

カッターナイフにてペットボトルをカットし鉢作り(ナイフ不慣れでしたが皆なんとか怪我もせず加工。その中に、珪酸白土を入れて、更に赤玉のゴロ土、そして芝用土をいれて終了。続いて、割り箸を使って鉢置台の制作(デッサンしてから作るので皆、頭を捻って書き上げる)。更に箱庭に置くオーナメント作り(発泡スチロールと発泡スチロールトレイの廃材をカッターナイフで工作し接着と彩色)を行い、接着剤と塗料を乾かす間に、近くの公園に箱庭に植え込む植物の採集に出かける。

歩いている途中にて植物の説明などを加えて採取。セミの抜け殻も子供たちは夢中でゲット。真夏の炎天下での行動なので、熱中症対策として水筒を持参して行き帰りに水分補給を行なう。

教室に戻り、採取してきたものと、若干主催側で予備に用意した材料を使っての植え込みと、オーナメントの配置、カラーサンドによる池や道作りを実施して完成。

参加したお友達の作品をお互いに観賞して解散した。帰りは皆、生き活きとした表情で、楽しかったとのアンケートを残して終了。

2 回目は8月9日の午前中で「マイ下敷き、マイエコバッグ作り」を行ないました。

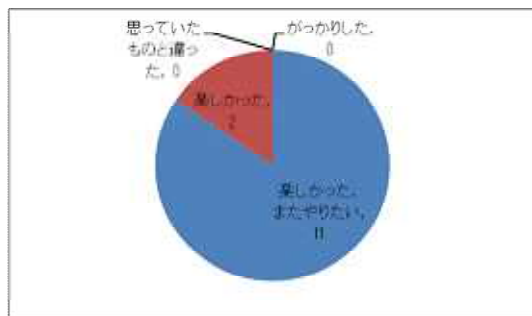
作る内容の説明をし、素材としての植物(主に葉、花びらなど)を近くの公園に採取に出かける。1回目と同様に途中途中で植物の解説などを加え教室に戻る。最初はエコバック作りを行なう。まずデザインや何を使うのかを書き上げる。その後絵筆やスポンジを使っての植物への彩色とバックへの圧着色付けを行なう。野菜もスタンプとして使えることを紹介(アスパラガスを束ねて、猫の足跡と発想してスタンプした子もいた)。

皆いろいろと工夫してマイバックを作り上げる。続いて、マイ下敷き作りに採取した素材の配置などをデザインする傍ら、電子レンジを使っての押し花*押し葉作りを行い、その材料をペーパーに配置し、パウチ処理して完成。今回のパウチシートは0.2ミリ厚のものを使用。皆いろんなことを考えて制作したため時間が足りなくなりそうであったが全員仕上げる。その作品を順番に発表し終了。全員が大事に作品を持ち帰った。好評でした。

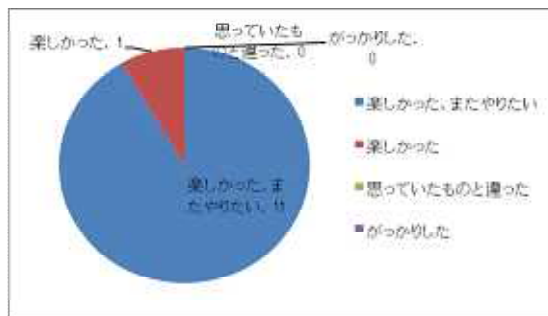
今回は、センター側職員による事前の作成体験をしてもらい、納得しての実施を行なったので、スタッフにも好評でした。また、実施内容の紹介と植物への関心を向けることにつながるとセンター側からのコメントもありましたので、会員の方もご参考にされては如何でしょうか。

(アンケート結果)

第一回目



第2回目



(実習風景)

